

# 経営比較分析表

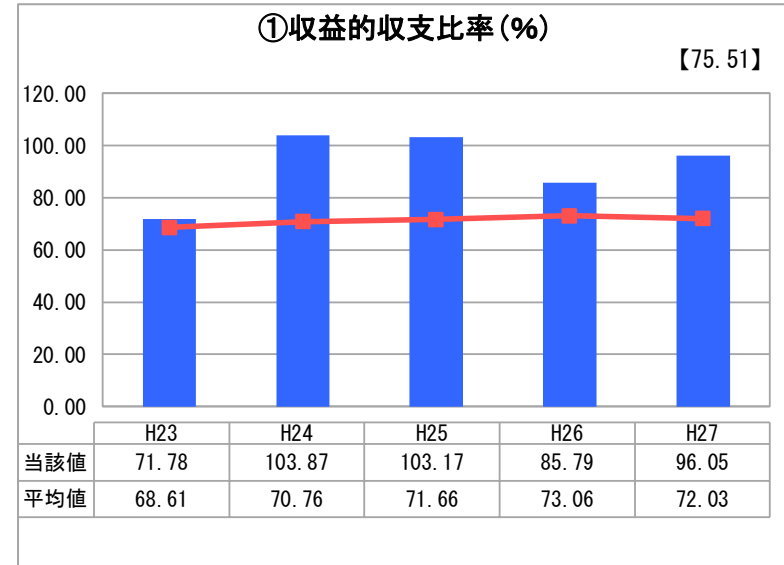
沖縄県 北大東村

| 業務名        | 業種名          | 事業名     | 類似団体区分                          |
|------------|--------------|---------|---------------------------------|
| 法非適用       | 水道事業         | 簡易水道事業  | D4                              |
| 資金不足比率 (%) | 自己資本構成比率 (%) | 普及率 (%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円) |
| -          | 該当数値なし       | 100.00  | 7,798                           |

| 人口 (人)     | 面積 (km <sup>2</sup> )     | 人口密度 (人/km <sup>2</sup> )   |
|------------|---------------------------|-----------------------------|
| 590        | 13.09                     | 45.07                       |
| 現在給水人口 (人) | 給水区域面積 (km <sup>2</sup> ) | 給水人口密度 (人/km <sup>2</sup> ) |
| 567        | 12.71                     | 44.61                       |

| グラフ凡例 |               |
|-------|---------------|
| ■     | 当該団体値 (当該値)   |
| —     | 類似団体平均値 (平均値) |
| 【     | 平成27年度全国平均    |

## 1. 経営の健全性・効率性



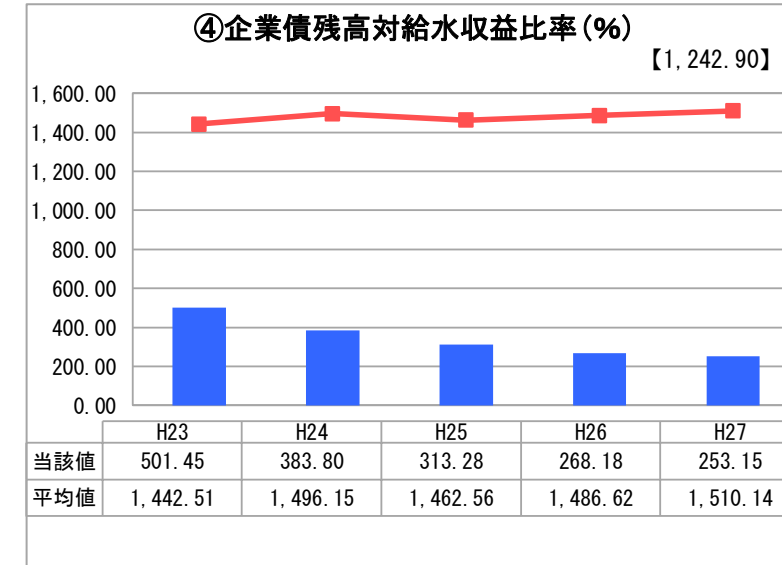
「単年度の収支」



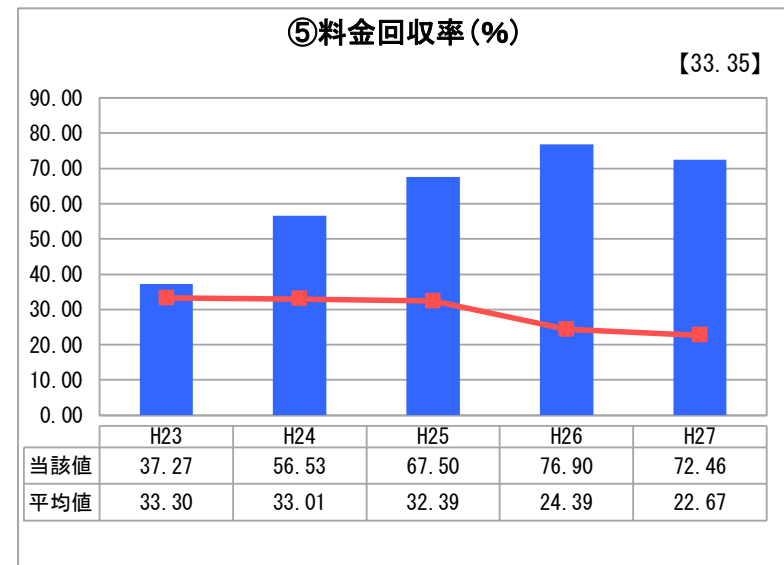
「累積欠損」



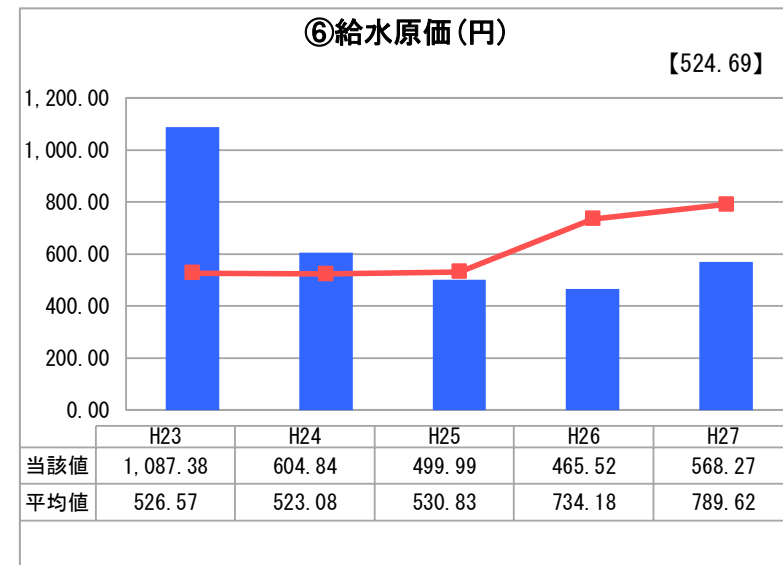
「支払能力」



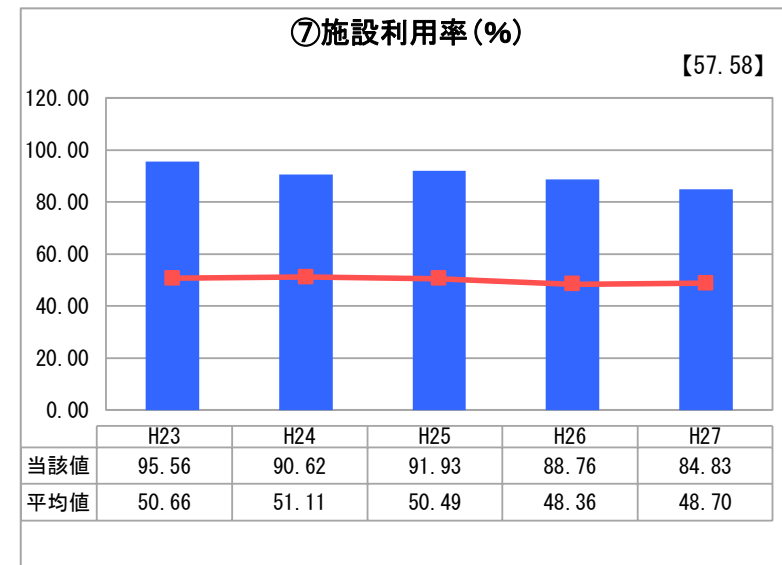
「債務残高」



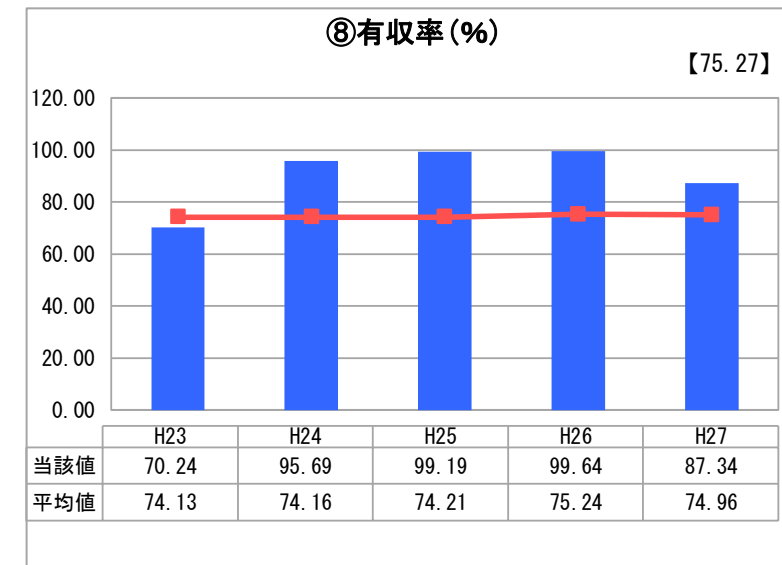
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

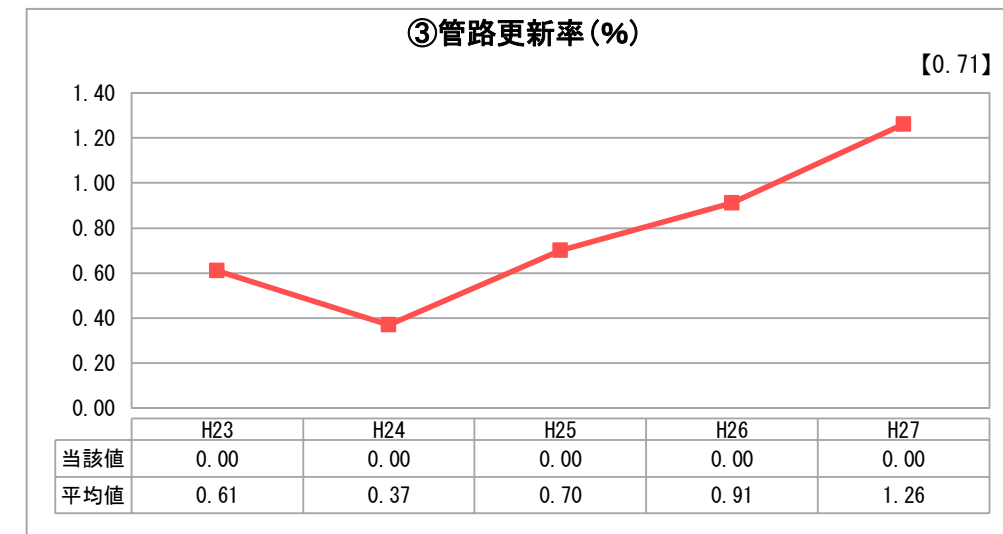
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経営収支比率  
各年度の収支は黒字となっているが、施設投資等に係る費用を確保するため費用削減に取り組む必要がある。
- ② 企業債残高対給水収益比率  
平均値を下回っている。水道広域化に伴い浄水場は県企業局に譲渡する計画予定。それに伴い管路更新計画を策定し管路の更新を行う必要がある。
- ③ 料金回収率  
平均値を上回っており、今後も回収率の向上に努める。
- ④ 給水源価  
施設の老朽化により設備の修繕に費用がかかり上昇傾向にあるため、整備点検を徹底し費用の削減に努める。
- ⑤ 施設利用率  
平均値に対して高い値を維持していることから、施設への投資経済性は効率的に維持している。
- ⑥ 有収率  
管路の老朽化が進んでおり漏水が増える恐れがあるので漏水調査等を実施し有収率増加に努める。

### 2. 老朽化の状況について

施設については、広域化に伴い沖縄県企業局が新たな施設の建設を予定している。それに伴い、老朽化で漏水が懸念される管路の更新を行う必要があり、有収率増加に向け管路の更新計画を策定し計画的に管路の更新に取り組んでいく。

### 全体総括

施設及び管路の老朽化に伴い施設の維持管理に費用がかかっているが、数値的にそれほど大きな変化みられないが、広域化に向け有収率の増加、施設設備等の修繕等の経費の削減に努めていく必要がある。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。